

令和4年4月27日

東京大学高齢社会総合研究機構 飯島 勝矢 教授による フレイルチェック キックオフ講演会を開催しました

春日部市は、新規事業として、東京大学高齢社会総合研究機構と連携し、武里団地をモデル地区として、フレイルチェックを実施します。フレイルチェックのキックオフイベントとして、東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 飯島 勝矢 教授による介護予防講演会を開催しました。

講演会には、定員に達する多くの参加者が集まり、飯島教授の講演を熱心に聴き入っていました。

飯島教授からは、「フレイルチェックは現在まで80を超える自治体で導入されているが、その中でも高齢化率の高い団地に、集中的にフレイルチェックを導入する春日部市の取り組みは全国初のプロジェクト。地域の皆さん、東京大学飯島研究チーム、春日部市が連携し、このプロジェクトを大いに盛り上げていきたい」と話がありました。

また、本講演会の応援に八潮市フレイルサポーターの皆さんが駆け付け、飯島教授の講演のサポートをしていただきました。

参加者からは「とても楽しかったです。」「あつという間の2時間でした。また飯島先生のお話を聞きたいです。」といった声がありました。

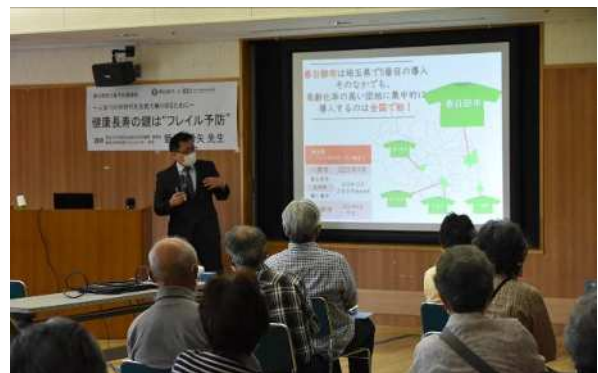
今後はフレイルチェックの運営を担う市民ボランティアである「フレイルサポーター」を募集・養成をした後、7月中旬に第1回フレイルチェック測定会を実施します。

【春日部市介護予防講演会(フレイルチェックキックオフ講演会)】

日 時 4月25日 午前10時から正午
会 場 春日部市健康福祉センター「ゆっく武里」



※写真撮影時のみマスクを外しています。



問い合わせ先
介護保険課
地域支援担当 遠藤
内線 7575